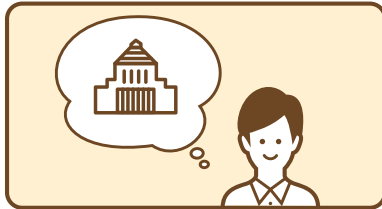




政策に働きかけよう

よりよい未来を描くために、一人ひとりが、きっと力になれるはず。
具体的に、動き出してみよう。

暮らしと政策・政治の関わりについて考える。



勉強会や情報交換の場に参加し、多様な視点を身につける。



署名や街頭活動などのアクションに参加する。



パブリックコメントや提言書を出す。



良い政策を作っている議員やNPOを応援する。



投票に行く。



チェックリスト ～持続可能な社会をつくるアクション～

暮らしの中から、持続可能な社会をつくるためにできること。

□ 買い物するときにチェック！

環境負荷や児童労働などの人権問題を起こしていないか。認証マークがついている商品を選んだり、メーカーに問い合わせるなどして安心できるものを手にいれよう。

□ まちの移り変わりを眺めてみる！

時代の流れとともに、まちの風景や暮らしにはどんな変化があったのか。高齢者に話を聞くなどして、調べてみよう。未来につながるヒントがあるはず。

□ 暮らしの中に「現場」を見つけよう

自分の暮らしの中にも、新しい未来につながるアクションがきっと見つかるはず。いろいろな場が「変革」の現場と意識して、行動を具体化してみよう。

□ 積極的に「アウェイ」に出向こう

自分と似た仲間とだけ話しては会話が閉じてしまう。交わることから、生まれる可能性は無限大。異分野の人たちと、積極的に交わり合ってみよう！

□ ゆるやかな、重なり合いをつくろう

社会課題は、それぞれが関連していて、つながり合っている。活動する人たちがつながり合っていることで、多くの重なり・接点が生まれる生態系をつくろう！

□ 異なる現場をつなぐ「通訳」を育てよう

お互いの背景を知り、互いが言おうとしていることを受け止めるための「言葉の細解き」ができる「通訳者」を育てていこう！

